

ENEOS スーパー耐久シリーズ2023 第2戦 NAPAC 富士SUPER TEC 24時間レース  
第2戦 富士スピードウェイ S耐 24時間レース

## 予選 1位 / 決勝 1位



### スーパー耐久シリーズ、富士24時間耐久、優勝！

開幕の鈴鹿線でポルトウウィン、幸先の良いスタートを切ったスーパー耐久。迎える第2戦、富士での24時間耐久。今大会ではEDライバーに野中選手を迎え、ドライバー5名の体制で挑みます。また、ハンコックのタイヤ工場で火災があったため、急遽、今大会よりハンコックからブリヂストンへとタイヤが変更。そして、埼玉トヨペットお客様交流イベント「スーパー耐久観戦ツアー」により、たくさんの応援団にご来場いただきました。

#### ●5/26(金) 予選

午前中の公式走行ではライバルに届かない状態で、厳しい予選を想定するも、ADライバー山崎選手が渾身の攻撃でトップタイム。BDライバー吉田選手は僅差の中で7位。合算タイム0.038の差で首位、ポールポジションを獲得。当方はDドライバーとして出走。マシンの状態を確認し決勝に挑みます。

#### ●5/27(土)～28(日) 決勝

晴天に恵まれた決勝。多くのお客様を迎え会場はコロナ前に迫る大変な賑わいになりました。

15:00、いよいよ24時間の耐久レースがスタート。

スタートドライバーは吉田選手。ポールからスタートするもタイムが上がらずポジションダウン、4番手をキープします。ダブルステントを走行し、その後、服部選手から山崎選手へつなぎます。ここまでは、全体的に荒れることなく順調な展開。22時、ドライバー交代を受けマシンに乗り込みました。ダブルステントで走行する中、トップにたち、深夜に入ったところで野中選手に交代。

このあたりからFCYや他車のマシンにトラブルが発生するも当チームは順調で、ドライバーも一巡。吉田選手が2回目の走行をする中、305周目に大きなレースアクシデントが発生。#86がガードレールに接触し赤旗になりました。破損したガードレールの修復が必要で、レースは中断。1時間30分経過後の、明け方に修復が完了。朝5時にレースが再開。再開後、トップ維持で吉田選手から山崎選手へ交代。山崎選手の走行後、バトンを受け2回目の走行を担当します。この時点で、2番手とは1周以上のギャップがあり、マシンを労わりながら周回を重ね、野中選手へ託します。あと2時間をむかえ、最終ドライバーは服部選手。堅実に周回を重ね、無事、クラストップでチェッカー。24時間走破し、2年連続のポルトウウィンを達成しました。

これまで出走したスープラGT4は、大きなトラブル無く24時間レースを終えられたことがありませんでした。

今回、チームの総合力とドライバーの車を労った走りにより結果を残すことができました。

昨年に続き、24時間耐久、2年連続でのポルトウウィン。沢山の応援、誠にありがとうございました。

次戦は7/8-9、スポーツランドSUGOです。引き続き、ご声援のほど、よろしくお願いいたします。